

**基礎医学委員会機能医科学分科会 第25期第5回委員会
議事要旨**

I 日 時 令和5年8月29日(火) 14:00~16:00

II 会 場 オンライン会議

出席者(敬称略) : 赤羽悟美、池谷裕二、今井由美子、大場雄介、岡村康司(幹事)、垣塚彰、加藤総夫、金井好克(副委員長)、河合佳子、内匠透、多久和典子(幹事)、古屋敷智之、鍋倉淳一(委員長)、西谷友重、横山詩子

欠席者(同上) : 伊佐 正、上田泰己

III 議 事

1. 第4回委員会の議事要旨(案)の承認がおこなわれた。また、本間さと連携委員が任期満了により機能医科学分科会委員を退任された旨が鍋倉委員長より報告された。

報告事項

1. 動物実験の国内共通基本指針について

我が国における動物実験の適正な実施に関する共通基本指針について、学会会議から意志の表出を準備していることについて、加藤委員から説明があった。

2. 25期の活動について

25期における分科会の活動を振り返り、以下のように鍋倉委員長から総括と説明がなされた。

- (1) 動物実験問題について : 2022年11月の第3回委員会に関連して、外部機関による「日本における動物実験の現状と問題点」のセミナーに機能医科学分科会委員が参加した。また、動物実験の適正化の活動に協力していくことを確認した。
- (2) 日本生理学会・日本薬理学会・日本解剖学会が協働して「ワンヘルスの実現に向けた生命科学のサステナブル循環システムの構築」を作成し、日本生理学会理事長から提出されたことが鍋倉委員長・赤羽委員から報告された。
- (3) 第95回日本薬理学会年会において、学会会議共催シンポジウム「疾患の理解に向けた領域融合型研究基盤の構築」を開催したことが赤羽委員より報告された(2022年3月8日、福岡 ; 後援 : 日本生命科学アカデミー)。
- (4) 第100回生理学会大会(大会長 : 伊佐正委員)において、学会会議共催シンポジウム「分野横断型プロジェクトが牽引する科学の未来」を開催したことが鍋倉委員長から報告された(2023年3月15日 京都 ; 後援 : 日本生命科学アカデミー)。
- (5) アウトリーチ活動として、第100回日本生理学会大会において市民公開講座「100年後の人類は？」を日本生理学会と学会会議 第二部 機能医科学分科会・IUPS分科会が共同主催したことが鍋倉委員長から報告された(2023年3月11日 京都 ; 後援 : 日本生命科学アカデミー ; IYBSSD2022 関連事業(下記参照))。
- (6) 機能医科学分科会は、第25期に設置された、学会会議の「持続可能な発展のための国際基礎科学年2022」(IYBSSD2022)連絡会議に第2回連絡会議から参加した。この連

絡会議において、上記の第100回日本生理学会大会における市民公開講座「100年後の人類は？」をIYBSSD2022関連活動とする予定であることを報告した。

審議事項

1. 今井委員より、令和5年12月に開催される日本薬理学会第97回年会（会頭：今井由美子委員）において、学術会議の「未来の学術振興構想」に関係した「ワンヘルスの実現に向けた生命科学研究」のシンポジウムを学術会議の後援を得て開催することが提案され、全会一致で賛同が得られた。
2. 26期に向けて
来期（26期）にも機能医科学分科会の設置を提案し、活動を行っていくことが確認された。

< 配布資料 >

第25期 機能医科学分科会第5回委員会 議事次第

資料1 第25期 機能医科学分科会第4回委員会 議事要旨(案)

資料2 動物実験の適正な実施に関する国内共通基本指針について

資料3 「ワンヘルスの実現に向けた生命科学研究のサステナブル循環システムの構築」
(日本生理学会・日本薬理学会・日本解剖学会) について